



# JR四国労組新聞

## JRSU

2024年  
1月1日  
No.7(535)

四国旅客鉄道労働組合  
〒760-0021 高松市西の丸町11-9  
TEL (NTT) 087-851-1378  
(JR) 086-2597~2598  
http://jrсу.jrsis.com/  
発行責任者 / 大谷 清  
編集責任者 / 和田 庄平



吉野川橋梁を走るキハ47と日の出

### 年 頭 の ご 挨拶

明けましておめでとうございます。



四国旅客鉄道労働組合  
執行委員長 大谷 清

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃の安全最優先の取り組みはもとより、JR四国労組運動にご理解とご参画を頂いておりますことに心から敬意を表し感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、3年以上続いた新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同等の扱いへと移行し、社会・経済活動が活発になり明るさを取り戻した年となりました。あわせて、JR四国グループの鉄道やバスはコロナ禍前の水準まで戻っていないとはいえ、宿泊、物販などを含め確実に昨年を上回る

新年おめでとうございます。



日本鉄道労働組合連合会  
会長 荻山 市朗

皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃のご精励と組合活動へのご協力に感謝します。

厳しい苦境を脱し、JR旅客各社の経営は順調に回復しています。現在、国は「新型インフルエンザ等対策推進会議」で新たな危機に備える「政府行動計画」改定の検討を進めています。JR連合は、科学的根拠に基づく人の移動と感染防止の両立などを提起し、意見反映に取り組んでいます。

お客様の利用を頂き、第2四半期決算では連結・単体ともに黒字を計上することができました。これはひとえにJR四国労組組合員の日々における奮闘があったからこそです。改めて組合員の皆様に感謝しつつ、今後もより一層組合員相互のコミュニケーションを深め「安全の取り組み」を第一義とした運動方針を実践し、JR四国グループの発展に邁進しましょう。

さて、迎えた2024年、JR四国労組としても大きく前進を図るうえで重要な1年となります。とりわけ、昨春闘ではJR四国で3年振りのベアを獲得するなど、期末手当・賞与、各種制度改善等について、鉄道・バスともに多くの成果を収めることができましたが、今年も私たちが策定した「ユニオンビジョン2023」を最大限活用し、この流れを継続していかなければなりません。

JR四国グループは「人」が支える企業体です。「人財確保」は企業運営を継続させるための必要条件として、安全の確保や技術継承を語るうえで「人」が欠かせないの言うまでもありません。働く者の立場から中長期的な視点で「誇り

JR連合は一昨年の結成30周年の節目を大きな転換期と認識し、JR産業と働く仲間の将来に向けた提言を発信しました。これを踏まえ、安全確立を最優先に位置付けたうえで、新年の方針や決意を2点申し上げます。

まず、産業政策です。JR連合はJRが民の力を発揮し、「地域交通など公共的役割を果たすこと」「新幹線など成長分野を進展させること」の重要性を提起しています。昨年、地域交通法改正により国・地方・JRが連携強化し持続可能な地域モビリティをつくる仕組みができました。本年はこの実効性を高めるべく取り組みます。また成長分野について、地域発展に貢献する新幹線の有用性を訴え、その着実な建設などを求めます。このほか4月からの自動車運転者や建設業の時間外労働の上限規制強化に伴う「2024年問題」への対策も急務です。伸び悩む鉄道貨物の利用拡大、鉄道の保守・工事の安定遂行などの課題解決へ現場起点で取り組みます。

2点目に労働政策です。JR各社で離職が増加し人財確保に苦労しています。JR産業の魅力低下に危機感を持ち、賃金や働き方の改善を果敢に進めなければなりません。その転機にすべく2024春季生活闘争に臨みます。人件費はコストでなく成長投資です。成長と分配の好循環を築くとともに、物価上昇も考慮した積極的な賃金上げと原資の価格転嫁も求められます。これは政労使が主張する社会的要請です。運賃改定の理解も広げる必要があります。合わせて、安心して意欲高く働き続けられるJR産業を築くべく骨太の議論を深めることとし、指針となる「中期労働政策ビジョン」改訂版を6月の大会で提起します。

令和に入り、コロナ禍を経験するなど、時代は急速に変化しており、世界情勢を含め、取り巻く環境が一層不安定な状況にあるといえますが、JR四国グループの社会的使命である四国地域の社会経済を支え、生活を豊かにする役割は変わりありませんし、働く私たちも、明るい将来展望を描くことのできる企業グループとして持続的に成長していかなければなりません。今年には「TAKAMATSU ORNEの開業」や「松山駅立体高架事業の進展」など明るい話題も多い年で、さらなる飛躍を継続させるべく邁進しましょう。

本年が皆様にとって健康で明るく充実した1年となりますことをお祈りするとともに、JR四国労組運動に対する一層のご理解ご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

変化の時代にJR産業が持続的に成長するには、責任ある労働組合と健全な労使関係が不可欠です。JR産業に働くすべての仲間のJR連合への総結集、JR各社の結束強化、JR連合との信頼関係づくりを訴えます。結びに、次代に繋がる有意義な1年を築くためにJR連合は全力で取り組む決意を申し上げます。新年のご挨拶といたします。

「団結創造 実践 新たな局面を迎えたコロナ禍を乗り越え『ユニオンビジョン2023』の前進を図りさらなる組合員・家族の幸せを実現しよう!」のスローガンのもと、組合員の皆様のためにJR四国労組運動に取り組んで参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。



執行委員  
杉本 慶太



執行委員  
和田 庄平



書記長  
中村 鉄平



副執行委員長  
中野 圭司



副執行委員長  
武智 義治



執行委員  
岩本 敏幸



執行委員  
寶田 晃



執行委員  
河野 憲司



執行委員  
笹岡 慎平



執行委員  
山本 鉄平



執行委員  
岡部 新



執行委員  
今村 健一



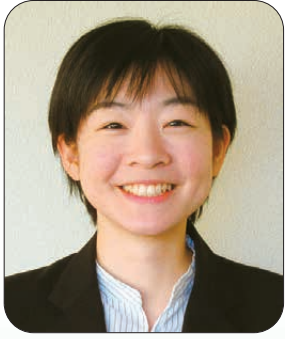
執行委員  
尾上 連太郎



執行委員  
今井 勇樹



執行委員  
土井 俊哉



特別執行委員  
香西 若菜



特別執行委員  
藤岡 祐自



特別執行委員  
石川 敏也



執行委員  
玉井 江吏香



執行委員  
河野 鎮朗



本部書記  
板倉 みゆき



本部書記  
木村 真由美



会計監査  
河野 勉



会計監査  
岡本 茂



会計監査  
三好 幸治

